

受験番号	氏 名

2025 年度 I 期 人間生活学研究科心理学専攻（臨床心理学コース）博士前期課程
入学試験問題（専門科目）

（4 枚中 1 枚目）

※問題は 2 問あります。2 問とも解答して下さい。（解答用紙を含め、全部で 4 枚あります。）

問題 1. 次の文章の①～⑫の空欄に適切な語句または人名を、2 枚目の語句選択用リストから選んで解答してください。ただし、一度選択した語句は他の空欄には使えません。

- (1) 自らの感情を認識したり、表現したりすることが乏しく、想像力に欠ける状態を(①) という。
- (2) APA（アメリカ心理学会）の第 12 部会（臨床心理学）において、認知行動療法、行動療法、系統的脱感作等、実証的に支持された心理療法のリストが作成されたが、このうち理論や介入の有効性が効果研究によって実証的に認められた方法を採用するアプローチのことを(②) アプローチという。
- (3) 条件づけにおいて、いったん消去が成立した後、しばらく時間を置くと、再び反応が生じることがある。これを(③) という。
- (4) コミュニティ心理学において用いられる技法で、事例等を担当している専門家に対して、分野の異なる専門家が適切な助言を与える活動を(④)、分野や領域の異なる専門家同士が協働してクライアントの援助を行う活動を(⑤) という。
- (5) 大脳辺縁系にある脳の部位で学習や記憶に関係するのが(⑥)、情動と関連するのが扁桃体である。
- (6) 障害者（児）を持つ家族が、ショートステイ等を利用して障害者（児）を預けることで、介護から一時的に開放され、心身のリフレッシュを図る目的のサービスを(⑦) という。
- (7) 高齢になると何かと喪失することが多いにもかかわらず、高齢者の幸福感は若年者とそれほど変わらず、心理的な安定性はむしろ高いことが知られており、これを(⑧) という。
- (8) 2 群の母集団における分布に違いがあるかどうかを検定するノンパラメトリック検定法は(⑨) である。
- (9) 犯罪理論のうち、性悪説の考え方をベースとして、人が犯罪に走らないのはどうしてかという視点から犯罪を捉えようとした理論を(⑩) という。
- (10) 比率尺度又は間隔尺度である 2 変数間の関係を要約する指標として、(⑪) があるが、データに外れ値があったり、変数間の関係が線形でなかったりする場合、(⑫) を指標として用いることを考慮する必要がある。

受験番号	氏名

(4枚中2枚目)

- (11) (13))は、日常の葛藤場面における受検者の対応を明らかにすることにより、当該受検者の攻撃性の方向やそのタイプを明らかにしようとする投射法テストを開発し、
 (14))は、共同研究者とともに、欲求と環境からの圧力との精神力動的結合の結果として生じた物語の主題から、受検者の人格像を明らかにしようとする投射法テストを開発した。
- (12) 多数の人がそれぞれ個人の利益の最大化を追求した結果、全体としてみれば好ましくない結果（利益の低下）が発生するような状況を (15)) という。

【語句選択用リスト】

アレキシサイミア ローゼンツァイク レスパイトケア エイジング・パラドクス 重相関係数 マレー
 マン・ホイットニーのU検定 脳弓 分化的接触理論 ピアソンの積率相関係数 般化 アパシー
 ナイトデイケア 統制理論 帯状回 ソンディ クラスカル・ウォリス検定 スキーマ分析 馴化
 スーパーヴィジョン 数的データ 消去バースト 社会的ジレンマ 自発的回復 決定係数 海馬
 エビデンスベースド コンフリクト コンサルテーション ウェルビーイング 緊張理論 共依存
 スピアマンの順位相関係数 ギルフォード 協同実証主義 サクセスフルエイジング ヤマアラシジレンマ
 コラボレーション 一時保護 アンビバレント アレキシソミア X二乗検定 ワークディスカッション